

～多職種連携合同学習会を行いました～



和歌山県立高等看護学院体育館

令和4年4月28日（木）に和歌山国際厚生学院理学療法科3年生と県立高等看護学院3年生が合同学習を行いました。模擬事例を用いて、それぞれの立場から、講義や実習などで学び得た知識を活用し、課題や課題を解決していく過程について学びました。

学生の意見・感想

同じ目標をもち、情報共有やコミュニケーションをとることの大切さがわかりました。

学生の意見・感想

他の職種の人からも意見をきくことで視野がひろがりました。



学生の意見・感想

それぞれの専門性を生かして、患者さんを支えていくことが大切であることを学びました。



多職種連携教育とは

複数の領域の専門職者が連携・協同のために学び合い、お互いを理解する専門職の教育です。

当学院では、チーム医療の中でどのような役割を担うかについて、自職種と他職種を理解する授業が行われています。多職種によって課題を解決していく過程やチーム医療に取り組む姿勢を学んでいます。